

回 覧

令和6年5月1日

ご町内の皆様

荒牧町自治会

会 長 相 田 義 夫

前橋空襲死没者等に係る調査への協力をお願いします

日頃から、自治会活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

前橋市では、昭和20年に起きた「前橋空襲」の記録と記憶を断絶せず、確実に後世へ語り継いでいくため、「(仮称)前橋空襲と復興資料館」の設立を決定し、開館準備を進めております。

開館準備作業の一環として、前橋空襲で犠牲になられた方等に関する調査の依頼が下記のとおりありましたので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 調査の概要

「前橋空襲死没者等一覧(『戦災と復興』(昭和39年、前橋市)より抜粋に記載の前橋空襲で犠牲になられた方等に関する資料(写真など)を探しています。

- (1) 「前橋空襲死没者等一覧(『戦災と復興』(昭和39年、前橋市)に記載のある方(裏面2名)に係る情報(遺族親族の連絡先、住所など)。
- (2) 地域の歴史や前橋空襲に関して詳しい方や、長く荒牧町に住んでいらっしゃる方など、手掛かりとなる情報をご存じの方を探しております。

(裏面へ続く)

2 調査の方法

令和6年4月下旬から6月下旬までの間に市文化国際課職員が訪問しお聞きします。

3 前橋空襲死没者等一覧（『戦災と復興』昭和39年、前橋市）より抜粋

① 調査対象者 奈佐 誠一

(1) 当時の住所 荒牧地内にて

(2) 当時の所属や肩書きなど 大正用水公夫

(3) 手掛かりとなる情報

「昭和二〇年七月三〇日午前七時三〇分小型機が来襲し、その南橋村上小出地内で、おりから渋川方面に向かい進行中の電車が銃撃を受けた。その際、大師停留所付近通行中の下小出平石氏と大正用水公夫の奈佐氏二名が負傷したので、直ちに村役場に収容し、加々美医師の手当を受けたがいかに重傷で、まもなく死亡した。」（『戦災と復興』P210-211より引用）とある。

② 調査対象者 日向 勝之助

(1) 当時の住所

(2) 当時の所属や肩書きなど

(3) 手掛かりとなる情報

「昭和二〇年七月三〇日午前七時三〇分小型機が来襲し、その南橋村上小出地内で、おりから渋川方面に向かい進行中の電車が銃撃を受けた。」

（『戦災と復興』P210-211より引用）とある。この電車襲撃により重傷を受け、亡くなった。

※ 手掛かりとなる情報をご存じの方は、お手数ですが自治会まで連絡お願いいたします。

荒牧町自治会 (233) 9913